

平成29年12月教育委員会定例会 会議録

平成29年(2017)12月26日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 長	榎 野 信 幸
教育委員(教育長職務代理)	下 手 泰 子
教 育 委 員	松 浦 剛 司
教 育 委 員	水 陽 子

2. 会議に欠席した委員

教 育 委 員	小豆澤 貴洋
---------	--------

3. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長(学校教育課長)	安 井 孝 治
教育部次長(教育施設課長)	金 山 隆 司
教 育 政 策 課 長	渡 部 祐 子
児 童 生 徒 支 援 課 長	児 玉 弘 之
学 校 給 食 課 長	金 森 真 治
出 雲 科 学 館 館 長	山 本 利 明
子ども未来部次長 (保育幼稚園課長)	坂 本 伸 仁
学 校 教 育 課 主 査	佐 藤 協 之
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	松 井 博 之
保 育 幼 稚 園 課 課 長 補 佐	鬼 村 修 治

4. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

5. 傍聴者

1人

開会

(槇野教育長) 只今から、平成29年12月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1. 教育長行政報告

(槇野教育長) それでは、教育長行政報告を行います。

(槇野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

- H29.11.27 奨学事業運営委員会
- H29.11.30 市議会初日 ～12.20
- H29.12.4 市議会一般質問 ～12.6
- H29.12.6 市議会予算特別委員会
- H29.12.7 まちづくり懇談会(稗原)
- H29.12.8 教育政策審議会
- H29.12.9 同和教育研究発表大会(西田地区)
- H29.12.12 県学力調査
- H29.12.12 市議会文教厚生常任委員会・予算特別委員会分科会
- H29.12.13 校長の会議
- H29.12.18 乙立小学校・朝山小学校再編統合推進委員会
- H29.12.20 市議会最終日
- H29.12.21 まちづくり懇談会(日御碕)
- H29.12.26 定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

- H29.12.28 仕事納め
- H30.1.4 仕事始め
- H30.1.7 消防出初式
- H30.1.7 成人式
- H30.1.12 校長の会議
- H30.1.15 まちづくり懇談会(多伎)
- H30.1.16 管内教育長会
- H30.1.19 まちづくり懇談会(朝山)
- H30.1.23 定例教育委員の会議

(3) 12月定例市議会一般質問

- 1. 岸 道三議員

小中学校における課題（問題行動等・教職員の負担軽減）について

- ①問題行動等における傾向と課題
- ②問題行動等における県内の状況などについて情報共有が図られているか。
- ③校務支援システムの導入の効果と長時間労働是正の現状
- ④部活動のあり方の検討における進捗状況

2. 大場 利信議員

社会教育振興体制の充実について

- (1)出雲市の教育委員会は学校教育に特化され、長い間社会教育主事不在でありましたが、今年4月から派遣社会教育主事が2名配置され、社会教育(生涯学習)に関する専門的知見を基に、関係する人々と連携し、地域での子どもの教育をはじめ、地域づくりや人づくりなどに取り組み、新鮮な影響を与えていると聞いています。そこで以下の点を伺います。
 - ①4月に派遣社会教育主事が2名配置されたが、これまでの主な実績
 - ②学校やコミセンに与えた影響
 - ③家庭教育あるいは子育ての推進
 - ④地域づくりを担う人材の育成への取り組み
- (2)支所やコミセンの在り方が検討される中、将来的には地域の活性化のキーマン的役割を担わせることを念頭に、これらの部署に社会教育主事を計画的に配置することを考えても良いと考えるが、これについて見解を伺います。
- (3)厳しい財政難の中でも、子どもをはじめ地域の人々が生き生きと過ごせる地域を創造するため、出雲市の社会教育推進組織を順次拡充すべきと考えますが、見解を伺います。

(榎野教育長) 今の報告で、質問等がありますか。

(各教育委員) ありません。

2. 会議録の承認

(榎野教育長) それでは続きまして会議録の承認に入ります。前回11月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) 特に意見等ありませんので、11月定例会の会議録については承認いたします。

3. 議事

(榎野教育長) それでは、議事にはいります。最初に「議第30号 出雲市立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則」を、子ども未来部 坂本次長 に説明をお願いします。

(坂本次長) 資料に基づき説明。

(榎野教育長) 只今の、議第30号について、何か質疑等はありませんか。

(下手委員) 全園でされるとなると、この預かり保育のところは、職員ではなくて別枠で採用されるのですか。

(坂本次長) はい。2人以上いなくてはいけないということで、そのうち1人は必ず幼稚園教諭の免許を持った方ということになりますので、4時半までですと、正規職員が1人は付いて、もう1人は補助という形で雇用しているということです。

(下手委員) その人員の確保も、できていますか。

(坂本次長) ほぼできております。

(下手委員) ありがとうございます。

(榎野教育長) ほかに、よろしいですか。

(榎野教育長) ほかに無いようですので、議第30号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(榎野教育長) ご異議ありませんので、議第30号については承認します。

4. 報告

(榎野教育長) それでは報告事項に入ります。報告(1)「学校給食における異物混入について」を、学校給食課 金森課長 に説明をお願いします。

(金森課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(松浦委員) 12時40分にセンターに連絡があり、13時15分から40分にかけて、センターから所管の全学校に連絡とありますけれど、もう少し早く初動を起こして、食べる前に確認が数校でも取れるようなことはできませんか。到着して、現状を確認してからということでしょうか。

(金森課長) 現物を見ておりませんので、まずはその現物を学校に見に行く、そこで第一判断をするわけですが、それにしても、それを見てから次の受配校に連絡するまでちょっと時間があります。実際、もう少し早く対応ができたと思いますので、こういった間延びすることが無いように、今後は機敏に確認したいと考えております。

(松浦委員) そういう対応を教育委員会としても、なるべく早く連絡が行くことで、二次災害と言いますか、そういうことも防げるのではないかと思いますので、そういうシミュレーションをもう一度組み直してもらって、早めの対処ができればいいと思います。

それから、こういったセンターの機械、設備だったり、今回は民間ですが、こういう機械というのは、車の車検システムのような、1年に1回そういう整備があるというものではないですか。

(金森課長) 車検のように定期的に、というような話は聞いておりません。この機械は、開始したのは昭和55年度ですので、もう37年、8年経っておりますので、相当老朽化はしております。部品を取り替えるといっても、部品が現在無いような状況で、取り替えるのが一番いいのですが、修繕するのであれば折れた金属の棒を溶接して付けるとか、そういったことで対応するしかありません。しかし実際に、一回取れたものを溶接して付けるということになると、強度的にも、もともと付いていた強度には戻らない恐れがありますので、何らか攪拌するところの構造といいますか、折れたり取れたりするようなものではないものに替えることはできないかということ、炊飯センターに検討させていきたいと考えています。

(松浦委員) 炊飯センターさんに限らず、給食センターはいろいろな機械があるわけですから、そういうものがどう点検されたり整備されたりしているのかという疑問からです。決してそこだけの話ではなくて、一般的に、何年経った機械はこういう点検するかという、ルールがあるのかと思ってお尋ねしました。そういうことがしていただければ、少しでもこういう事故が防げるような感じがしております。

(槇野教育長) センターの機械は、保守点検をやっているものもあるでしょうし、機械によっては職員が点検を行っています。

(金森課長) そうです。給食センターの厨房機器などは、定期的に点検を行っております。

す。特に、給食を実施している期間中はできませんので、夏季の休業などの長期休業期間中を使って、そういった機器のメンテナンスをセンターでは行っております。

(槇野教育長) ほかには、よろしいですか。

(槇野教育長) 次に、報告(2)「学校再編の状況について」を、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、報告(2)について、何か質問等はありませんか。

(下手委員) この平田の地域説明会には、PTAの方はどのぐらいの割合で出ておられますか。

(渡部課長) 西田地区では8カ所でさせていただきましたが、地区によっては、半分くらいがPTAの方だったり、少なくともPTAの方がゼロだったということはありません。未就学児童の保護者さんも出席いただいたりしました。

(下手委員) 若い方は意見もいい難いかと思いますが、いかがでした。

(渡部課長) やはり遠慮はなさっていましたが、地区の方に促されて、ご意見を言われた方もありました。また、鰯淵でも説明会を何回か行いましたが、ここはPTA対象の説明会であったり、この地区に説明に来てほしいというところには、説明に行かせていただきました。

(下手委員) 子どもさんのある世代と、上の世代では意見が違ったりすることもあると思いますが。

(渡部課長) まだ地域の中で、いろいろ意見を戦わされているところですよ。

(松浦委員) 直接関係ありませんが、学校再編のことで教えていただきたいことがあります。廃校になった学校の校歌のCDの音源や、楽譜、歌詞カードなどの保存に関して教育委員会は、関知していらっしゃるでしょうか。

(杉谷部長) 音源というものが、ちゃんとあるかどうかということはありませんが、少なくとも公の表簿になっているものであれば、統合先の学校の金庫できちんと保管はされています。ただ、例えば校歌を録音したとか伴奏を録音したCDについては、ちょっとそこまでは確認していません。

(松浦委員) この地域に、四十二の同窓会や還暦の同窓会で、小学校単位や中学校単位で集まったりするときに、校歌を歌います。その特に伴奏者も楽譜が無くて、今現存する小学校でもそういう状況だったんです。先日、年配の方からそういうことを聞かれて、大事な知的財産というか、書類等ばかりではなくて、そういうものもしっかり残して、地域のコミュニティセンターで保管するとかいうことは、大事なことではないかと思いました。これから統廃合されるに当たって、そういったアドバイスも残された方がいいと思います。たまたま私は、平田CATVの経営者の一人ですが、一度平田地域の校歌は、全部録りました。ケーブルテレビはそういうアーカイブスの役目も担っていますので、それはそれで一つの役割だと経営者としては思っていますが、でもやはり本当は、統廃合が決定している学校については、録音されたりすると、それも一つの財産の保存で、大事なことだと思ったので、提案ですけれども参考にしていただければと思います。

(榎野教育長) 確かに大事なことです。これまで閉校になったところがどうなっているか全部調べて、やはり保存方法も一定の統一ルールというか、どこが保存するかということなども含めて、もう一回しっかりとやりたいと思います。

(水委員) 私は岐久小校区ですが、1年ぐらい前に、全国版のラジオで、なくなった学校とかなくなる学校の校歌を流すということをして、家族で聞いたのをよく覚えています。今回もそうだと思いますが、対等合併と言われても、片方は閉校し、片方は校舎を使ってこちらは閉校でないと言われて、でも校名も変わり校歌も変わり、学校の行事も、全部、元の岐久小側の行事を踏襲しているわけではなく、逆に相手側の行事を取り入れたりすることがすごく多くて、岐久小学校も終わったのに、それは終わりではなくて続いている、というお答えを教育長さんからいただいたことがあります。今回も、朝山に来られるけど学校名も変わって校歌も変わる、一応ひとつの学校の終わりは終わりというように認識していただけたら、地元の方は安心ではないかと思います。今の校歌のことも含めて、片方は終わるけど片方は続くという発想は、もう終わった後ですけれどもちょっと悲しいというか、思うところは大きいです。

(榎野教育長) さくら小学校を創ったといいますか、久多美小と佐香小の統合のときに、久多美小はどうなるのかという議論を、地元の方も含めて、内部でもかなりしました。確かに、校名も変わる、校歌も変わる、校章も変わる、前の久多美小学校は、もうないよねということにはなりますが、たまたま同じところを使っているということもあって、久多美の場合であれば、そこまでの歴史に「佐香小学校と統合」と書き加えて、後をつなげていくようなやり方で、閉校式はやらずに、新しい小学校の開始式というような形で行いました。それがいいか悪いかということになると、多分意見が分かれるところで、難しいと思います。お気持ちはよくわかりますし、両方の意見があったのも確かですし、結果として、今やっているやり方をスタートさせたということ。難しいですね。

(水委員) 実際に、PTAの役員さんの決め方も、去年もですが今年もまた、どのぐらい向こうの方を役員に入れるのかを、何回も集まって決められます。まだ初めての年で

すし、向こう3年間ぐらいはやはり、田儀小さんの保護者の方を何人か入れるということですので、まだまだしばらくはいろいろなことがあると思います。

(槇野教育長) このたびの学校再編というのは、平成24年に計画、方針を作って、それから動き始めています。その計画の対象で最初に統合したのが平成27年の4月1日です。そこから始まっていまして、当然、今の出雲市になってから初めてのことで、今の校歌の話も含めて、案外気づいていないことなどがある可能性がありますので、何なりとまたお気づきの点があればいろいろと聞かせていただいて、これはこうしていかうとか確認をしていった方がいいと思います。

(槇野教育長) 今回の報告(2)についてはよろしいですか。よろしければ、次に、報告(3)「12月11日の強風被害について」を、教育部 金山次長 に説明をお願いします。

(金山次長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、報告(3)について、何か質問等はありませんか。

(水委員) 生徒や児童への被害はないですね。

(児玉課長) 中学生が自転車で下校中に、強風によってバランスを崩して、転倒しまして、左肩の脱臼と肘の骨折をしたと報告を受けております。

(槇野教育長) 台風ですとか大風のときは、いつもはらはらしています。当然、台風や大風が分かっているときは、事前に学校へ注意喚起をしています。校舎周辺に、倒れそうなものや飛びそうなものがあればちゃんと片付けるようにとか、いろいろな安全対策を講じてくださいということを通知していますし、学校の方も大体、どこをどうしておけばいいかというポイントを抑えていると思いますが、そうは言っても場所によって風の吹き方や強さが結構変化するものですから、こうやって部分的に壊れるようなことがよくあります。ですから教育施設課の方も、悪天のときはいつも注意しながら心配しているという状況です。

(松浦委員) 関連ですが、学校がお休みの日に、児童、生徒が交通事故にあったときは、教育委員会に必ず報告があがってくるものですか。

(児玉課長) あがっております。学校が臨時休業でも市役所に勤務しておりますので、救急本部の方から教育委員会に一報が入ります。それで各学校の管理職に、児童生徒支援課から連絡を入れます。

(松浦委員) 以前、平田中の生徒の事故のときには、ご存知なかったようですが、あれ

はたまたま報告があがっていなかったということですか。

(杉谷部長) 救急搬送されると、自動的に連絡が入りますが、例えば家の方が送っていかれた場合などは、逆に保護者から学校へということになるので、教育委員会へ入らない可能性があります。

(松浦委員) 平田中のあの案件もそうですか。実は、知り合いのお父さんなのでいろいろ話をしたら、事故が起きて、第一発見者が中学生の自転車のシールを見て、すぐに平田中学校へ電話して、平田中学校から保護者に電話があって、保護者が現場に駆けつけたということです。集中治療室に一旦入ったぐらいなので、本来だとあがってくるべき案件ではないかと思ったので、報告、連絡の徹底をもう一度確認された方がいいと思っています。

(児玉課長) 土曜日、日曜日の学校の休業日における救急搬送については、消防本部から児童生徒支援課の、第一連絡先から第三連絡先まで事前に連絡をしておりますので、必ず連絡が入ります。受けた児童生徒支援課の職員が、当該校の管理職に連絡をすることになっておりますので、救急搬送についてはそういう対応をさせていただいております。

(槇野教育長) 他はよろしいでしょうか。

(槇野教育長) 次に、報告（４）「出雲市立小・中学校の卒業式及び入学式等について」を、教育部 安井次長 に説明をお願いします。

(安井次長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 今、冬休みに入りましたけど、冬休みの期間についてはどういう傾向ですか。

(安井次長) ２２日までが４割ぐらい、月曜日、昨日までが６割ぐらいで、今すべて、休みに入っています。

(槇野教育長) 始まりは、どうですか。やはりずれるんですか。

(安井次長) 始まりは、ほぼ一緒です。

(槇野教育長) ９日ぐらいですか。

(安井次長) ９日です。

(槇野教育長) という状況ですが、これについて何かありましたらお願いします。

(松浦委員) 中学校の入学式は、だいたい午後ですか。

(安井次長) 兄弟さんがおられる関係で、中学校はすべて午後です。

(槇野教育長) 他にはよろしいですか。

5. その他

(槇野教育長) それでは、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 渡部課長に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) ありません。

6. 次期教育委員会の開催時期

(槇野教育長) 次期教育委員会の日程ですが、1月23日(火)の午後2時から市民応接室で開催いたします。

7. 閉会

(槇野教育長) 以上をもちまして、教育委員会12月定例会を閉会します。

(14:50) 定例教育委員会閉会